



# 平成30年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年5月2日

上場会社名 JUKI株式会社  
 コード番号 6440 URL <http://www.juki.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月7日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 清原 晃  
 (氏名) 鈴木 正彦  
 TEL 042-357-2211

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年12月期第1四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年3月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第1四半期	25,650	8.2	1,242	41.9	946	57.8	468	69.3
29年12月期第1四半期	23,717	8.5	2,138	47.0	2,241	169.6	1,527	134.8

(注) 包括利益 30年12月期第1四半期 668百万円 ( %) 29年12月期第1四半期 935百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第1四半期	16.01	
29年12月期第1四半期	52.13	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第1四半期	111,935	31,647	27.7
29年12月期	110,554	33,343	29.6

(参考) 自己資本 30年12月期第1四半期 31,020百万円 29年12月期 32,726百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		0.00		35.00	35.00
30年12月期					
30年12月期(予想)		0.00		25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年12月期期末配当金の内訳 普通配当25円00銭 創立80周年記念配当10円00銭

## 3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	51,000	5.4	2,500	30.9	2,200	38.7	1,400	41.8	47.79
通期	104,000	0.3	5,500	32.6	5,000	36.2	3,500	38.0	119.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

直近の公表では、第2四半期(累計)は未定としておりましたが、今回、上記のとおりいたしました。なお、通期については変更ありません。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期1Q	29,874,179 株	29年12月期	29,874,179 株
期末自己株式数	30年12月期1Q	577,859 株	29年12月期	577,787 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期1Q	29,296,344 株	29年12月期1Q	29,296,896 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業を取り巻く経済環境、主要市場における政治情勢、為替相場の変動(主に円/米ドル相場)などが含まれます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、お客様の省力化・省人化ニーズに合った製品・サービスや工場全体の生産効率を高めるスマート工場などを提案するソリューション営業活動に取り組むとともに、アジア市場を中心としたミドルマーケットにおいて将来に亘る磐石な顧客基盤の構築に努めております。一方、電子部品などの供給不足により生産の一部に遅延が生じました。この結果、売上高は256億5千万円(対前年同期比8.2%増)となりました。

利益面につきましては、売上は増加したものの、ミドルマーケットの市場攻略費用や先端開発費用の増加に加え、上記生産遅延の影響並びに、人民元高ドル安基調で推移したことで中国生産会社の売上が目減りしたことにより、営業利益は12億4千2百万円(対前年同期比41.9%減)となりました。また、営業外においても前連結会計年度末と比べて急速に円高ドル安に転じたことで債権の評価替による為替差損が生じたことなどから、経常利益は9億4千6百万円(対前年同期比57.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億6千8百万円(対前年同期比69.3%減)となりました。

(主なセグメント別の概況)

#### ① 縫製機器&システム事業

市場別では中国などハイエンド分野での売上は堅調に推移し、また、アジア市場におけるミドルマーケットでの売上も前年同期より増加してきていることなどから、縫製機器&システム事業全体の売上高は170億6千5百万円(対前年同期比6.7%増)となりました。利益面においては、ミドルマーケットでの市場攻略費用を投下したことや生産遅延などで高付加価値商品の売上が伸び悩んだことから、セグメント利益(経常利益)は5億5千3百万円(対前年同期比69.5%減)となりました。

#### ② 産業機器&システム事業

産業装置では最大の市場である中国をはじめとして設備投資需要が引き続き旺盛であるなか、生産遅延により一部の需要に応えられなかったものの、新型マウンタやスマートファクトリー提案で展開する省力化装置などの売上が増加いたしました。また、受託加工等のグループ事業でも顧客開拓が進み売上が着実に伸びたことなどから、産業機器&システム事業全体の売上高は85億5百万円(対前年同期比11.3%増)となりました。利益面においては、新製品の販売増による利益率の改善もあり、セグメント利益(経常利益)は8億2千5百万円(対前年同期比39.0%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金やたな卸資産が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ13億8千万円増加して1,119億3千5百万円となりました。負債は、短期借入金などが増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ30億7千6百万円増加して802億8千7百万円となりました。純資産は、為替換算調整勘定のマイナスが増加したことや配当金支払いなどにより前連結会計年度末に比べ16億9千6百万円減少して316億4千7百万円となりました。これらの結果により、自己資本比率は27.7%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、第1四半期の実績及び新興国の為替等の変動リスクを勘案し、売上高510億円、営業利益25億円、経常利益22億円、親会社株主に帰属する四半期純利益14億円としております。通期の業績予想につきましては、前回予想値からの変更はありません。なお、第2四半期以降の為替レートは1米ドル=105円を前提としております。

詳細は、本日公表の「業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

## 1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,407	7,015
受取手形及び売掛金	32,398	32,614
たな卸資産	36,652	37,021
その他	4,041	4,410
貸倒引当金	△397	△390
流動資産合計	79,102	80,671
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,452	12,269
土地	6,459	6,460
その他(純額)	4,632	4,780
有形固定資産合計	23,545	23,510
無形固定資産		
投資その他の資産	1,672	1,696
その他	7,846	7,539
貸倒引当金	△1,612	△1,482
投資その他の資産合計	6,234	6,057
固定資産合計	31,451	31,264
資産合計	110,554	111,935
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,049	13,753
短期借入金	34,548	38,458
未払法人税等	666	623
賞与引当金	16	591
その他	6,308	6,113
流動負債合計	55,589	59,540
固定負債		
長期借入金	15,668	14,936
役員退職慰労引当金	61	63
退職給付に係る負債	5,207	5,112
その他	683	636
固定負債合計	21,621	20,747
負債合計	77,211	80,287

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,044	18,044
資本剰余金	2,035	2,035
利益剰余金	13,994	13,438
自己株式	△606	△606
株主資本合計	33,468	32,911
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,016	922
為替換算調整勘定	△1,966	△3,019
退職給付に係る調整累計額	208	205
その他の包括利益累計額合計	△742	△1,891
非支配株主持分	617	626
純資産合計	33,343	31,647
負債純資産合計	110,554	111,935

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
売上高	23,717	25,650
売上原価	15,878	18,276
売上総利益	7,838	7,373
販売費及び一般管理費	5,699	6,131
営業利益	2,138	1,242
営業外収益		
受取利息	20	12
受取配当金	64	67
為替差益	61	—
貸倒引当金戻入益	46	120
その他	182	129
営業外収益合計	374	329
営業外費用		
支払利息	259	193
為替差損	—	427
その他	11	5
営業外費用合計	271	625
経常利益	2,241	946
特別利益		
固定資産売却益	32	1
特別利益合計	32	1
特別損失		
固定資産除売却損	9	12
その他	10	—
特別損失合計	19	12
税金等調整前四半期純利益	2,254	935
法人税等	709	446
四半期純利益	1,544	488
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	19
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,527	468

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益	1,544	488
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46	△94
為替換算調整勘定	△573	△1,059
退職給付に係る調整額	11	△2
その他の包括利益合計	△608	△1,156
四半期包括利益	935	△668
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	928	△679
非支配株主に係る四半期包括利益	7	11



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法等を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	縫製機器 &システム 事業	産業機器 &システム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	15,989	7,644	23,634	82	23,717	—	23,717
セグメント間の内部 売上高又は振替高	269	114	384	111	496	△496	—
計	16,259	7,759	24,018	194	24,213	△496	23,717
セグメント利益	1,815	593	2,409	10	2,419	△177	2,241

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益の調整額△177百万円には、セグメント間取引消去△6百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益△170百万円が含まれております。全社損益は、主に各報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用及び各報告セグメントに帰属しない為替差損益等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	縫製機器 &システム 事業	産業機器 &システム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,065	8,505	25,571	78	26,650	—	25,650
セグメント間の内部 売上高又は振替高	237	104	342	106	448	△448	—
計	17,302	8,610	25,913	185	26,098	△448	26,650
セグメント利益	553	825	1,378	11	1,390	△443	946

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理事業等を含んでおりません。
- 2 セグメント利益の調整額△443百万円には、セグメント間取引消去△3百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益△440百万円が含まれております。全社損益は、主に各報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用及び各報告セグメントに帰属しない為替差損益等であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。
- 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。